

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
22	違法駐車防止対策	都市整備部道路管理課

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	違法駐車等を防止することにより、道路が公共の施設として広く一般交通の用に供され、安全で快適な市民生活を確保することを目的とする。		<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要	見直しの経過	
	「西東京市違法駐車等の防止に関する条例」に基づき、違法駐車等防止重点地域として指定した田無駅周辺に「交通指導員」を配置し、違法駐車等を行おうとする者または既に行っている者に対し、声かけ指導や助言・駐車禁止ステッカーの挟み込み等による、違法駐車防止の広報及び啓発活動を実施する。 現在は、土曜日・日曜日・祝日及び年末、午前10時から午後6時までの8時間を3名体制でパトロールを実施している。		平成18年から警視庁による駐車監視員制度が導入され違法駐車取締りが強化された。田無駅周辺における交通渋滞の緩和や違法駐車等の抑制が一定程度図られたことから、平成22年度より指導員配置体制を見直し、平日の指導員配置を廃止し、土日祝日についても4名体制から3名体制に見直しを図っている。 本事業は「交通指導員」を配置することによる違法駐車等の防止に向けた啓発活動に留まることから、民間駐車場の充実や警察による取締りの強化などの複合的な取組により、当初の目的が達成されつつある現状に鑑みると、事業廃止または縮小に向けた検討が必要となる。
事業開始時期	合併以前	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)			4,316	4,731	5,239
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ( )					
	一般財源		4,316	4,731	5,239	5,216
所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	764	746	766	792	
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	5,080	5,477	6,005	6,008	
単位当たりコスト(E)=(D)/ (指導件数(口頭+ステッカー))	千円	0.5	0.4	0.6	-	

評価指標	指標名		単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	①口頭指導件数	実績値	件	10,794	12,102	10,349	
②駐車禁止ステッカー挟み込み件数	実績値	件	239	248	173		
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 ①指導員の配置体制を見直した平成22年度の口頭指導件数15,136件と比較すると、警察による取締りと合わせて本事業による一定の効果が見られる。 ②駐車禁止ステッカー挟み込み件数は、平成18年の警視庁による駐車監視員制度導入により大幅に減少、ここ数年、際立った変化は見られない。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし	
	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣自治体8市区に対する取組状況調査(平成29年8月実施) ・違法駐車防止条例を制定している：8市区中5市区 ・条例で重点地域を定めている：5市区中4市 ・重点地域において啓発活動を行っている：4市中1市 ・重点地域において啓発活動を行っていた：4市中1市
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	平成18年から警視庁による駐車監視員制度の導入により違法駐車取締りが強化されている。

**【一次評価】**

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	低い	目的はある程度達成されており、優先度は低いと考える。
事業の必要性	低い	目的はある程度達成されており、必要性は低いと考える。
実施主体の妥当性	課題有	駐車監視員制度の導入など、警察による違法駐車取締りも強化されている。
事業(補助)の対象	適正	違法駐車に対する啓発活動であり、適正である。
事業(補助)の内容	課題有	警察による違法駐車取締りが強化されている中、事業効果が見えづらい。
受益者負担	適正	受益者負担を求めるものではない。
事業コスト	普通	事業内容、指導員の配置体制に相応した標準的なコストである。
業務負担	軽い	職員の業務負担は軽い。
<b>一次評価</b>	<b>今後の実施に向けた方向性</b>	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	田無駅周辺における交通渋滞の緩和や違法駐車抑制は、これまでの取組において一定の改善が図られているため、交通指導員の配置については、今後、廃止を前提に段階的に見直す必要がある。なお、見直し後に違法駐車状況が悪化した際に早急な対応を図ることができるよう、根拠条例や重点地域の指定については、当面の間、存置する。	

**【二次評価】**

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	低い	目的はある程度達成されており、優先度は低いと考える。
事業の必要性	低い	目的はある程度達成されており、必要性は低いと考える。
実施主体の妥当性	課題有	駐車監視員制度の導入など、警察による違法駐車取締りも強化されている。
事業(補助)の対象	適正	違法駐車に対する啓発活動であり、適正である。
事業(補助)の内容	課題有	警察による違法駐車取締りが強化されている中、事業効果が見えづらい。
受益者負担	適正	受益者負担を求めるものではない。
事業コスト	普通	事業内容、指導員の配置体制に相応した標準的なコストである。
業務負担	軽い	職員の業務負担は軽い。
<b>二次評価</b>	<b>評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等</b>	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	一次評価のとおり、民間駐車場の充実や警察による取締りの強化などもあり、田無駅周辺における交通渋滞の緩和や違法駐車抑制は一定程度図られている。事業廃止により状況が悪化する恐れもあることから、「西東京市違法駐車等の防止に関する条例」に基づく違法駐車等防止重点地域としての指定は残しつつ、一定期間、交通指導員の配置を休止し、効果検証を行ったうえで、改めて本事業実施の可否を判断すべきと考える。	

**【外部評価】**

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

**【行革本部評価】**

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

**【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】**

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--